



はをりとり  
すりとおりて  
飯すきおもき  
田蛇かまき  
笏

## いよいよ読書の秋到来！

秋の夜長に、虫の音を聞きながら読書を楽しみたい季節がやってきました。読書に適した季節は秋だけではないのですが、中国・唐代の文人である韓愈が詩の一節で「燈火親しむべし」（秋になると涼しさが気持ちよく感じられ、灯りになじむようになる）と述べたことから、「読書の秋」といわれるようになったとか。

日本では終戦の2年後、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれ、今年は65回目となります。

それに合わせて、読書の話が増えたりイベントが行われたりすることでしょう。新たな読書のきっかけになるのではないのでしょうか。

2011・第65回 読書週間



信じよう、本の力

10/27～11/9



## 秋田県読書フェスタ

10月15日(土) 「あきた教育の日」イベント

秋田県でも、本とのさまざまな関わり方を体験し、読書しようと思う人が一人でも増えることを願って、「秋田県読書フェスタ」を開催します。

読書好きな人はもちろんですが、普段あまり本を読む機会のない人や、お子さんに読書のいろいろな楽しみ方を体験させてみたい方も、ぜひおいでください。

このフェスタをきっかけに、「本を読んでみようかな。」「図書館や本屋に寄ってみよう。」という気持ちになってもらえるような、楽しいイベントや役立つ情報、すてきな出会いを準備しています。

詳しくは、ポスター、チラシでお確かめください。

日時 平成23年10月15日(土)  
9時40分～16時30分まで  
参加料 無料  
会場・内容

秋田県立図書館/秋田県公文書館

☆館内見学 ☆電子書籍体験  
☆テーマ展示(鉄道の世界) 他

秋田県生涯学習センター

☆絵本作家 武田美穂 講演・実演会  
☆鼎談「ふるさとと本を語る」  
☆「家族で読書」標語表彰式 他

秋田県児童会館

☆おはなしクイズラリー  
☆絵本の中のお菓子ワールド  
☆読書感想画展示  
☆おはなし会 他

### 活動紹介

「子どもの読書活動優秀実践校」として、10月29日、文部科学省から表彰される学校が3校あります。

今回は、にかほ市立平沢小学校の取組を御紹介します。

- 図書館環境の整備…月2回の図書館だよりの発行・季節に合ったイベント・テーマ展示・図書館と連携した選書・各教科とタイアップした読書奨励
- 読書ファイルの作成…「読書の記録」「学年指定の本読後感想」「分類ごとのグラフ」「図書資料」をファイルしながら自分の読書冊数目標を設定
- ブックトークの実施…司書教諭や司書助手が学級で行い、選書の力を育成
- 図書館まつり…年2回、発達段階に応じた資料活用能力を高めるクイズや読書傾向を分析
- 親子読書の勧め…親子で同じ本を読み読書感想カードに記入(保護者の参加率9割以上)

# 学校図書館 ビフォー&アフター

## 「子ども読書夢プラン事業」第3回研修会 in 秋田市立上北手小学校

「子ども読書夢プラン事業」の目的のひとつに「学校図書館の整備」があります。8月1日、図書館整備のスキルアップを図るために、県立図書館の山崎博樹主任図書専門員を講師に、3回目の研修会を行いました。



学校図書館の環境のポイントは次の5つ。

- 1 図書館入り口で子どもを誘っているか
- 2 テーマ別の展示は行われているか
- 3 書架に古い本がたくさん置かれていないか
- 4 書架でも展示が行われているか
- 5 書架や机の配置は適切か

「夢プラン」の読書サポーターは、グループに分かれてそれぞれの持ち場をみるみるうちに変わっていきます。色画用紙、モール、布、イーゼル等の小道具を効果的に用いる技術もさることながら、展示の「テーマ」に沿った本を集めるときの発想の豊かさ、子どもの心に問いかけるメッセージこそ入ってみたいくなる図書館づくりにつながるでしょう。

カウンターは秋の気配→



入り口はお店のディスプレイと同じ

## 絶大!!面展示の効果

図書が整然と書架に収められているのを見ると、まず、「たくさん本がそろっているな。」と感心させられても、「おもしろそう。読んでみようかな。」という気持ちになるとは限らないのではないのでしょうか。背表紙はスペースが狭く、タイトルと著者名しか記載されていないことが多いため、そこから得られる本についての情報がわずかしかなからでしょう。

それに対して表紙には本の内容をイメージさせる絵がさまざまなタッチで描かれています。タイトルにまで工夫があります。ですから、表紙から伝わってくる力強さ、美しさ、かわいらしさ、恐ろしさ、楽しさが、私たちを読書へ誘ってくれます。



再び輝きだした窓辺の絵本たち

書架を使って面展示を行うと、スペースがなくなるのもったいないとも思われがちですが、「飾られる本」ではなく「読まれる本」となることが大切。

背表紙がボロボロになった絵本も、背の低い書架の上に並べてみると、まだまだ子どもたちの心を惹きつける力をもっています。表紙の魅力は輝き続けます。



表紙絵の魅力で書架も明るく!

10月29日(北秋田市)、11月5日(大仙市)、11月12日(由利本荘市)に、読書活動ボランティア研修会を行います。今回はストーリーテリング(語り)です。土曜日の午前に行いますので、平日はお仕事で参加できない方も、ぜひおいでください。お問い合わせは秋田県生涯学習課の生涯学習・読書推進班まで。

秋田県教育庁生涯学習課  
生涯学習・読書推進班

URL

<http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>

